

## 救命救急センターの充実段階評価に関する試行調査案について

厚生労働省 医政局地域医療計画課  
救急・周産期医療等対策室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

# 充実段階評価の見直しに関する想定スケジュール

救命救急センターの充実段階評価について、現状の救命救急センターにおける取組状況や、厚生労働科学研究班の評価項目の見直し案を踏まえ、**令和7年に試行調査**を行った上で、**本WGにおいて、試行調査結果を確認し、それを踏まえた評価項目の修正是非について議論**を行い、令和8年に行う令和7年評価から新しい評価項目で評価することとしてはどうか。

年	会議スケジュール	充実段階評価
R6	<u>救急・災害医療提供体制等に関するワーキンググループ</u> 充実段階評価の見直し案について議論	議論の結果を踏まえ見直し案について事務局で検討
R7	<u>救急・災害医療提供体制等に関するワーキンググループ</u> (3月) 試行調査案について議論  <u>救急・災害医療提供体制等に関するワーキンググループ</u> (夏頃) 試行調査結果を確認、それを踏まえた評価項目の修正是非について議論	1月 令和6年評価を配布(現行評価) 3-4月(P) 現行評価の結果公表 4-7月(P) 試行調査の実施
R8		<b>新しい充実段階評価を実施</b> 1-2月(P) 令和7年評価を配布(新評価)

- 地域における救急医療を担う医療機関の役割分担については地域医療構想も踏まえ今後検討。

# 「1. 救急外来における看護師の配置」に関する試行調査案①

- 12/20のWGにおいて、救命救急センターに二次救急医療機関から看護師が引き抜かれるのではないかと、多くの救命救急センターでは救急外来に看護師の配置が行われており引き抜きのようなことは起こらないのではないかと等の意見があったことを踏まえ、以下の内容の試行調査を行うこととしてはどうか。

問1 救命救急センターの救急外来に配置する看護師についてあらかじめ取り決めてありますか。

※ ここでいう「取り決め」とは、救命救急センターの救急外来の業務を行う看護師を24時間配置するためのもの。当該看護師の所属部署は問わない。  
(当該看護師が他の業務を行うときは、救急外来の対応がある場合、交代で配置された看護師が救急外来の業務を行っていただければ可)

はい  いいえ

問2 問1で「いいえ」と回答した場合、救命救急センターの救急外来における看護師の配置が充実段階評価の評価項目の一つになったら、救命救急センターの救急外来の業務を行う看護師について今後何らかの対応を考えますか。(最も近いお考えを選択してください)

- 新たに看護師を雇用して、救命救急センターの救急外来の業務を行う看護師を配置しようとする。
- 病院内の看護師の配置を調整して、病院の看護師を増やさず、救命救急センターの救急外来の業務を行う看護師を配置しようとする。
- 特段の対応を行おうとは考えない。
- その他 ( )

# 「1. 救急外来における看護師の配置」に関する試行調査案②

問3 貴病院内における救急医療に関する専門性が高い看護師（救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、クリティカルケア認定看護師、急性・重症患者看護専門看護師、小児救急認定看護師、小児プライマリケア認定看護師、特定行為研修修了者）の有無と、「あり」の場合その人数について回答してください。

あり なし

- ・ 救急看護認定看護師 ( ) 人
- ・ 集中ケア認定看護師 ( ) 人
- ・ クリティカルケア認定看護師 ( ) 人
- ・ 急性・重症患者看護専門看護師 ( ) 人
- ・ 小児救急認定看護師 ( ) 人
- ・ 小児プライマリケア認定看護師 ( ) 人
- ・ 特定行為研修修了者 ( ) 人

問4 問3で「あり」と回答した場合、以下の配置場所毎の救急医療に関する専門性が高い看護師数について回答してください。

	配置場所			
	救急外来	ICU・HCU	一般病棟	その他
救急看護認定看護師				
集中ケア認定看護師				
クリティカルケア 認定看護師				
急性・重症患者看護専門 看護師				
小児救急認定看護師				
小児プライマリケア認定 看護師				
特定行為研修修了者				

(単位：人)

問5 問3で「なし」と回答した場合、救急医療に関する専門性が高い看護師が充実段階評価の評価項目の一つになったらしたら、救急医療に関する専門性が高い看護師について今後何らかの対応を考えますか。(最も近いお考えを選択してください)

- 新たに救急医療に関する専門性が高い看護師を雇用しようとする。
- 病院内の看護師に研修等を受講してもらい、病院の看護師を増やさず、救急医療に関する専門性が高い看護師を育成しようとする。
- 特段の対応を行おうとは考えない。
- その他 ( )

## 「2. 充実段階評価に関するレビューの実施」に関する試行調査案

- 12/20のWGにおいて、評価の公平性の確保が重要である等の意見があったことを踏まえ、以下の内容の試行調査を行うこととしてはどうか。

問6 貴病院の充実段階評価について外部関係者によるレビューを受けていますか。

※ 外部関係者とは、メディカルコントロール協議会の構成員、自施設以外の医療機関職員、各都道府県の職員等を想定。なお、レビューの方法としては、各施設が充実段階評価の妥当性を確認するうえで必要な資料を提出し、レビューとなる外部関係者と当該施設職員が一同に会する場（Web meetingを含む）で内容を確認し、質疑応答に応じるような形式を想定している。

はい  いいえ

問7 問6で「はい」と回答した場合、どのような外部関係者からレビューを受けていますか。（複数回答可）

- メディカルコントロール協議会の構成員
- 他の救命救急センターの職員（救命救急センター長や充実段階評価の回答作成に関わっている職員）
- 医師会や二次救急医療機関の医師
- 都道府県衛生主管部局等の医師（保健所長含む）
- 消防機関の職員
- その他（ ）

問8 充実段階評価に関して外部からレビューを受ける場合にレビューアールとして確保することが困難と予想される者を回答してください。（複数回答可）

- メディカルコントロール協議会の構成員
- 他の救命救急センターの職員（救命救急センター長や充実段階評価の回答作成に関わっている職員）
- 医師会や二次救急医療機関の医師
- 都道府県衛生主管部局等の医師（保健所長含む）
- 消防機関の職員
- その他（ ）

# 「3. 重症外傷に対する診療体制整備」に関する試行調査案

○ 12/20のWGにおいて、大量輸血プロトコール（MTP）の整備とともに実効性が重要ではないか、外傷外科医等養成研修やSSTT（Surgical Strategy and Treatment for Trauma）の他にも同様の研修があるのではないかな等の意見があったことを踏まえ、以下の内容の試行調査を行うこととしてはどうか。

問9 大量輸血プロトコール（MTP）の整備状況について回答してください。

※ MTPとは、外傷診療における大量輸血を可能とするプロトコールのことであり、必要量が外傷診療中絶えず供給される体制を指す。

- 整備している。
- 回答時点で大量輸血プロトコール（MTP）はないが、作成中である。
- 回答時点で大量輸血プロトコール（MTP）はなく、作成予定もない。

問10 問9で「整備している」と回答した場合、これまでのMTPの活用（発動）の有無について回答してください。

- 活用したことがある。
- 活用したことがない。

問11 貴施設における、下記の重症外傷に関する研修受講者の有無（インストラクターで参加する者も含める）について回答してください。また、「あり」の場合は、それぞれの研修の受講者の有無と受講者数について回答してください。

- あり
  - 外傷外科医等養成研修 医師（ ）人 看護師（ ）人
  - SSTT（Surgical Strategy and Treatment for Trauma）標準コース 医師（ ）人 看護師（ ）人
  - C-BEST（Cadaver-based educational seminar for trauma surgery） 医師（ ）人 看護師（ ）人
  - ATOM（Advanced Trauma Operative Management） 医師（ ）人
  - ASSET（Advanced Surgical Skills for Exposure in Trauma） 医師（ ）人
  - DSTC（Definitive Surgical Trauma Care） 医師（ ）人
  - JETEC（Japan Expert Trauma Evaluation and Care） 医師（ ）人
  - その他（ ）

（いずれのコースもインストラクターも含める）

- なし

## 「4. 第三者による医療機能の評価」に関する試行調査案

○ 12/20のWGにおいて、第三者の医療機能の評価は重要等の意見があったことを踏まえ、以下の内容の試行調査を行うこととしてはどうか。

問12 日本医療機能評価機構又はISO（国際標準化機構）による認定を受けていますか。（複数回答可）

- 日本医療機能評価機構による認定を受けている。
- ISO（国際標準化機構）による認定を受けている。
- どちらの認定も受けていない。

問13 JCI（Joint Commission International）による認定を受けていますか。

- はい  いいえ

## 「5. 診療データ登録制度への参加と自己評価」に関する試行調査案

- 12/20のWGにおいて、救急関係のレジストリは他にもあるのではないか、若者の死因のトップが自殺であり自傷・自殺未遂レジストリの登録が重要ではないか等の意見があったことを踏まえ、以下の内容の試行調査を行うこととしてはどうか。

問14 貴施設が参加しているレジストリ等を回答してください。（複数回答可）

- 日本外傷データバンク（JTDB）
- 院外心停止レジストリ（OHCA）
- 熱中症レジストリ
- 自傷・自殺未遂レジストリ
- ドクターヘリ症例データ収集調査分析事業
- ドクターカーの運用事例等に関する調査研究事業
- その他（ ）